

取扱説明書

紙折機 LF-S640



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、
大切に保管してください。





はじめに

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この取扱説明書を必要な時にいつでもお読みになれるよう、保管場所を決めて大切に保管してください。
- この製品は改良のため、仕様を変更する場合があります。
このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの取扱説明書を混同して使用しないでください。
- 本書では、一部の部品を省略している挿絵があります。ご了承ください。


安全上の注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故や負傷を未然に防止するためのものです。

⚠ 警告

	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	交流100V周波数50/60Hzで使用してください。 不適切な電圧や周波数で使用しますと、火災や故障の恐れがあります。
	この機器の上に物をのせないでください。機器内部に水や異物が入った場合、火災や漏電の恐れがあります。 電源コードを扱う際は、火災や感電を防ぐため以下の事に十分ご注意ください。 ・傷や破損のあるものや、加工をしたものは使用しないでください。 ・重量物をのせないでください。 ・無理に曲げないでください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器をみだりに分解しないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	機器や電源コードで以下のような異常がみられる場合、火災や感電のおそれがあります。 速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店までご連絡ください。 ・発熱している。 ・煙が出ている。 ・変な臭いがする。 ・機器内に異物が入ってしまった。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災や故障を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部に垂らさないでください。ケガの原因になります。
	不安定な台の上や傾いた場所に設置しないでください。落下や転倒の原因になります。
	湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
	電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休などで長期間この機器を使用しない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

目次

1. 設置前の注意事項

1-1	設置場所の確認.....	6
1-2	搬入時の注意.....	6
1-3	付属品の種類・数量の確認.....	7

2. 製品各部の名称

2-1	外観.....	8
2-2	操作パネル.....	9

3. 特に注意していただきたいこと

3-1	用語の定義	
3-1-1	マーク解説.....	10
3-1-2	用語・折り形解説.....	10
3-2	特徴および使用目的.....	10
3-3	使用しないとき.....	10
3-4	使用上の注意.....	10

4. 使用前の準備..... 11

5. 使用方法

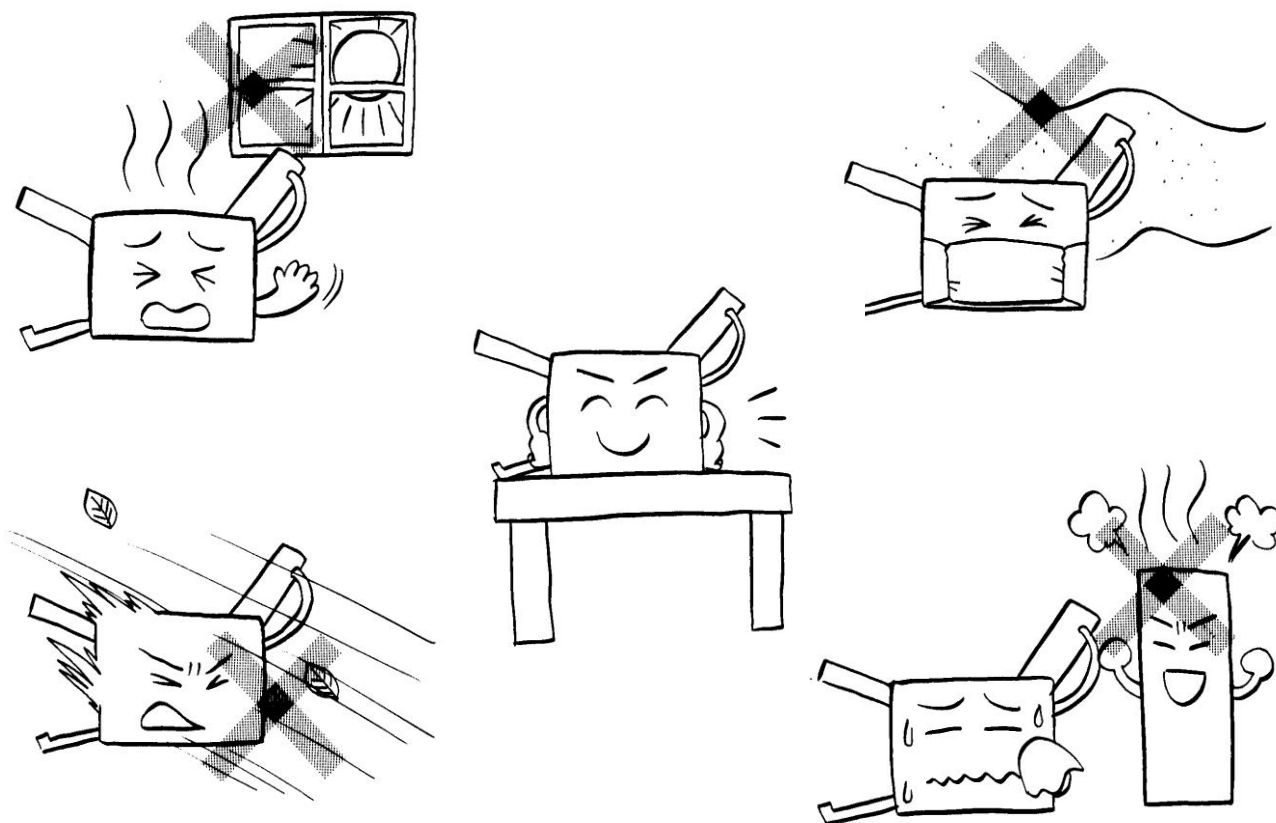
5-1	規格用紙(A3・A4・B4・B5等)の定形折り.....	13
5-2	規格外用紙(A3・A4・B4・B5等以外)の折り位置セット方法.....	16
5-3	クロス折り.....	17
5-4	アート／コート紙を折る方法	
5-4-1	コート用紙セパレータへの交換.....	18
5-4-2	圧力調整.....	19
5-5	調整	
5-5-1	斜行調整.....	20
5-5-2	折りカセット1・2の微調整.....	20
5-6	カウンタ	
5-6-1	加算モード.....	21
5-6-2	減算モード.....	21

5-7	速度調整	21
5-7-1	標準モード	21
5-7-2	SPECIALモード	21
5-8	各機能のON/OFF	22
5-9	インターバル機能(バッチ処理)	22
5-10	排紙テーブルの取り外し方	23
5-11	ショート給紙モード	23
5-12	ロング給紙モード	23
5-13	省エネモード	24
5-14	エラー表示・状況・対策	24
6.	保守・点検・消耗品	
6-1	点検・お手入れ時の注意事項	25
6-2	日常のお手入れ	25
6-3	消耗品について	25
6-4	排紙フォトセンサ／折りローラの清掃について	25
6-5	用紙セパレータ／給紙ゴムローラの脱着について	27
7.	トラブル時の処置	
7-1	トラブルの内容と処置	28
7-2	故障の場合	29
8.	移設または廃棄するとき	
8-1	移設	
8-1-1	旧設置場所からの撤去作業	30
8-1-2	運搬	30
8-1-3	移設先での設置	30
8-2	廃棄	30
9.	製品仕様	
9-1	仕様	31

1. 設置前の注意事項

1-1 : 設置場所の確認

- 次の条件を満たした場所に設置してください。
 - ・ 直射日光の当たる場所に設置しないでください。
 - ・ 窓際は避けてください。
 - ・ 湿気やホコリの多い場所は避けてください。
 - ・ 風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。
 - ・ 丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。

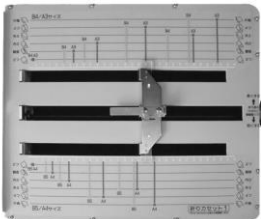
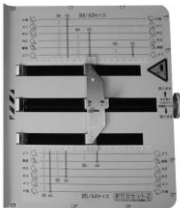
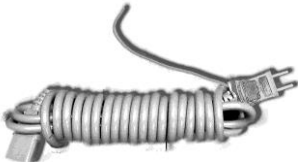




1-2 : 搬入時の注意

- ・ 衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないように丁寧に取り扱いってください。
- ・ 保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬してください。

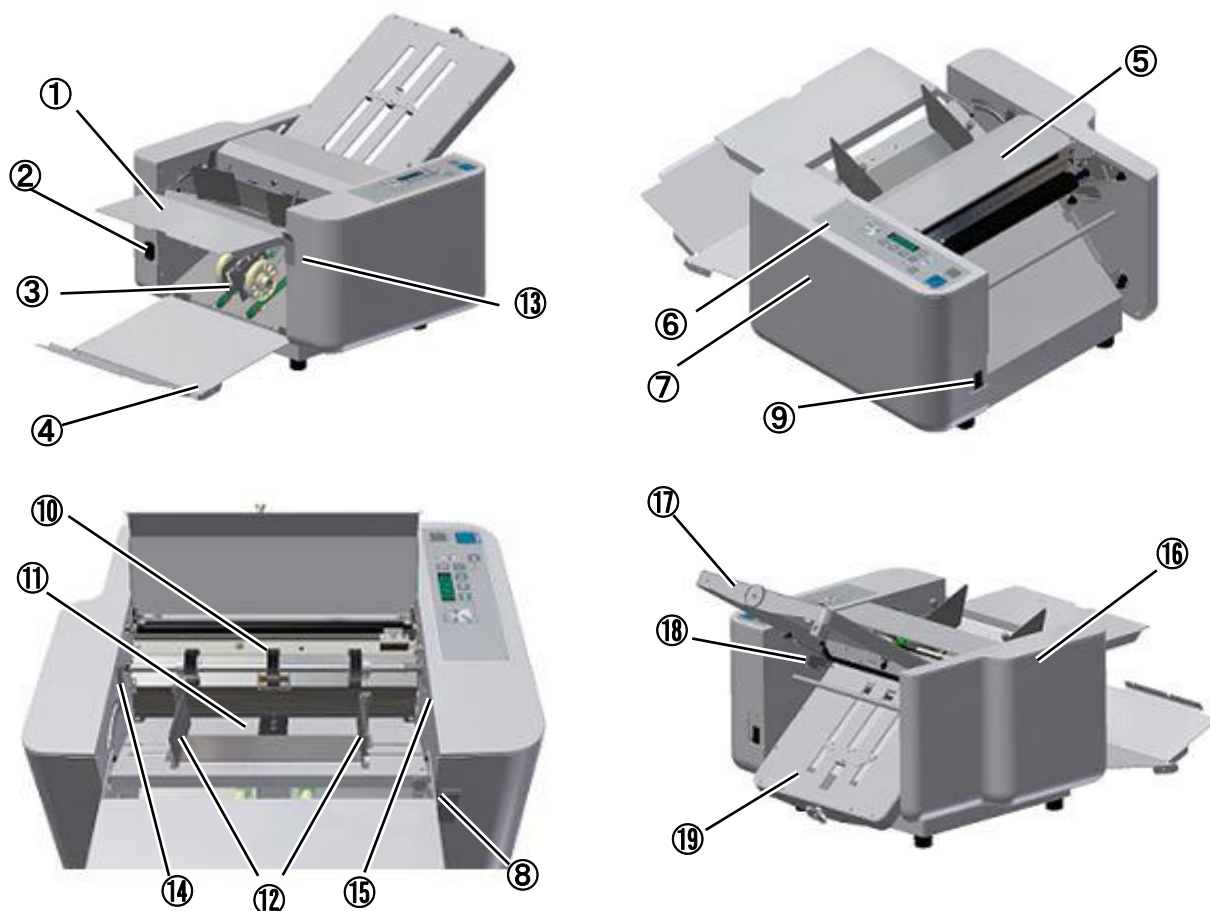
1-3 : 付属品の種類・数量の確認

- ・ 開梱したら、付属品の確認をしてください。
 - ・ 万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。
- また、保証書の記入をお願いします。

付属品	数量	図																
折りカセット1	1																	
折りカセット2	1																	
電源コード	1																	
補助用紙ガイド(左右)	各1																	
取扱説明書 (この小冊子です)	1																	
保証書	1	<p>株式会社ライオン事務器 型 FAX:0120-402539</p> <p>保証書</p> <table border="1"> <tr> <td>型 式</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>製 造 年 次</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>ご購入年月日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>貴 社 名</td> <td>TEL.....</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>FAX.....</td> </tr> <tr> <td>ご 住 所</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>郵 遞 名</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>お問い合わせ先・住所</td> <td>.....</td> </tr> </table>	型 式	製 造 年 次	ご購入年月日	年 月 日	貴 社 名	TEL.....	FAX.....	ご 住 所	郵 遞 名	お問い合わせ先・住所
型 式																	
製 造 年 次																	
ご購入年月日	年 月 日																	
貴 社 名	TEL.....																	
.....	FAX.....																	
ご 住 所																	
郵 遞 名																	
お問い合わせ先・住所																	

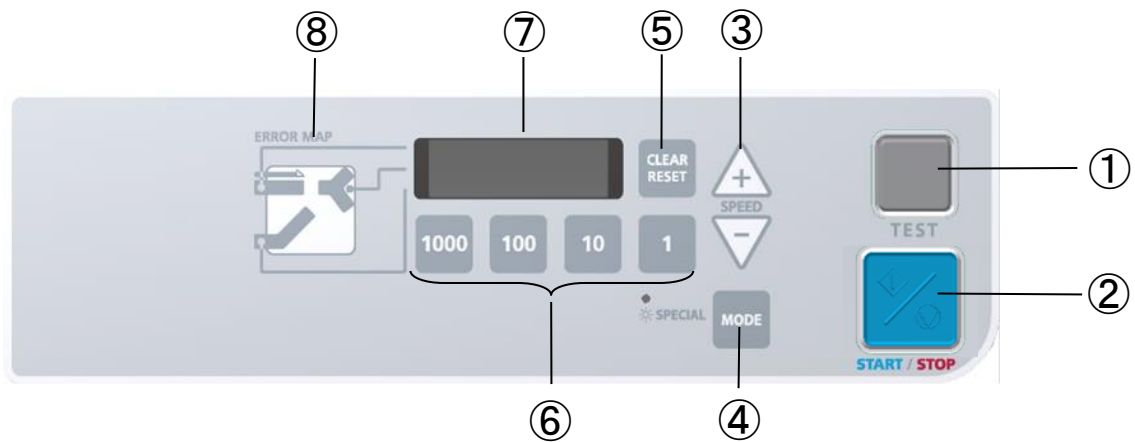
2. 製品各部の名称

2-1 : 外観



番号	名称	はたらき	番号	名称	はたらき
1	給紙補助テーブル	大きい用紙を支える	10	給紙ゴムローラ	用紙を1枚だけ給紙
2	インレット	電源コードを繋ぐ	11	給紙テーブル	用紙を載せる
3	排紙ローラ	折った紙を整えて排出	12	用紙ガイド	給紙時の曲がりを防止
4	排紙テーブル	折った紙を蓄える	13	給紙テーブルレバー	給紙テーブルを昇降する
5	安全カバー	開けると動作が停止	14	給紙圧レバー	給紙圧を調整する
6	操作パネル	枚数設定など	15	セパレータ圧レバー	セパレータ圧を調整する
7	右化粧カバー	メカ部の保護	16	左化粧カバー	メカ部の保護
8	斜行調整ツマミ	斜行の調整	17	折りカセット1	1回目の折りを入れる
9	電源スイッチ	電源の入・切	18	折りローラ脱着レバー	折りローラの脱着
			19	折りカセット2	2回目の折りを入れる

2-2 : 操作パネル



番号	名称	はたらき
①	テストキー	テスト折りを2枚折る
②	スタート／ストップキー	スタートとストップ
③	速度キー	速度調整を行う
④	モードキー	スペシャルモードの切り替え
⑤	クリア／リセットキー	カウンタをクリア、エラーをリセット
⑥	数字キー	減算カウンタ時枚数を入力
⑦	カウンタ	枚数表示、速度表示(速度調整時)、エラー表示(エラー発生時)
⑧	エラーマップ	⑦と併用して、エラー発生場所を特定する

3. 特に注意していただきたいこと

3-1 : 用語の定義

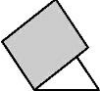
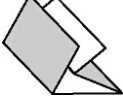
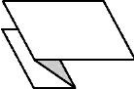
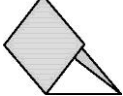
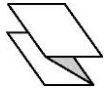
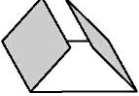
3-1-1 : マーク解説

注意!注意していただきたいことです。

ポイント!知っている则便利なことです。

3-1-2 : 用語・折り形解説

名称	解説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること。
重送	2枚以上重ねて給紙すること。
スリップ	用紙が滑って送り込まれないこと。
さばく	用紙同士がはりついている状態をはがすこと。

図						
折り形	2つ折り	4つ折り	片袖折り	内3つ折り	外3つ折り	観音折り

※図の着色部は、給紙テーブル積載時の用紙の上面を示します。

3-2 : 特徴および使用目的

- ・ 操作が簡単です。
- ・ プリセットカウンタにより、必要枚数を素早く折ることができます。
- ・ 斜行調整機能搭載。
- ・ エラー発生個所が一目でわかるエラーマップ付き。
- ・ 2つ折り、4つ折り、片袖折り、内3つ折り、外3つ折り、観音折りの6種類と、クロス折りができます。

3-3 : 使用しないとき

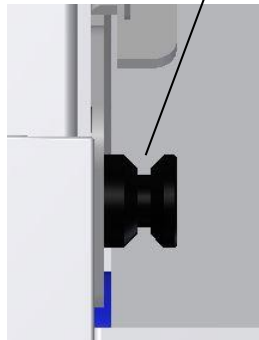
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

3-4 : 使用上の注意

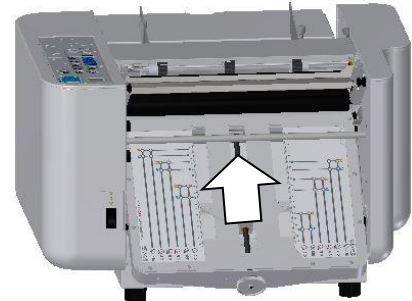
- ・ 安全カバーの開閉は中央を持って行ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
- ・ 特に重要な書類は事前に折りテストをし、折り位置の確認をしてください。
- ・ 理由を問わず、用紙の折りずれ・破損の補償はご容赦ください。

4. 使用前の準備

① 折りカセット2を取り付けます。

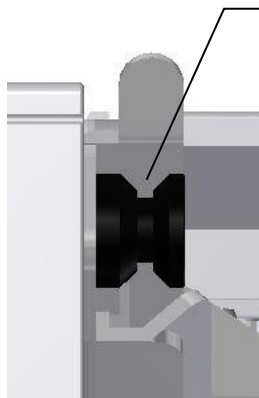
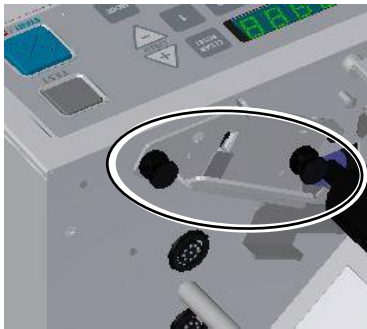


溝にカセットを載せ滑らせます。

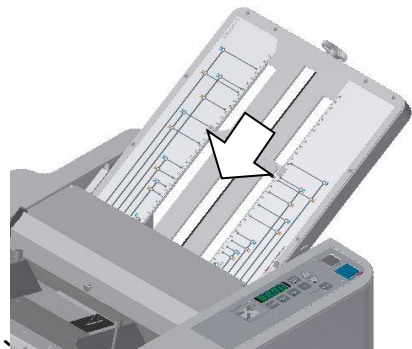


レール部分にカセット2を滑らせるように矢印方向斜め45度程度の角度で差し込みます。

② 折りカセット1を取り付けます。



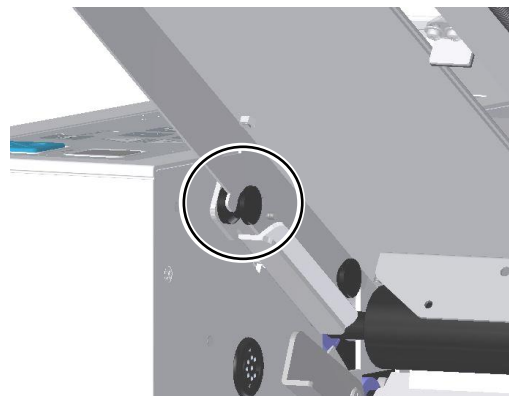
溝にカセットを載せ滑らせます。



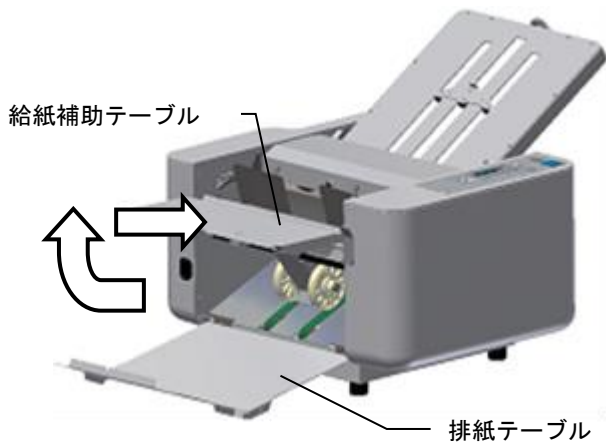
両側にある丸印の折りカセット1ガイドに沿わせるようにして、



側面の角穴が本体サイドカバーの面に丁度合うように押し込んでください。



折りカセット1がしっかりと固定されていることを確認してください。



- ③ 排紙テーブルを広げて、給紙補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします。



- ④ 電源コードをインレットとコンセントに挿し込みます。
(プラグ形状は写真と異なる場合があります)

注意！



- ・ 電源コードは必ずほどこいてから使用してください。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ・ 電源コードのアース線は必ず接地(アース)してください。
- ・ 電源コードのプラグ形状は異なる場合があります。
- ・ 接地接続は必ず、電源プラグを電源に挿す前に行ってください。
- ・ 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

- ⑤ 電源スイッチをオンにします。



注意！

電源スイッチをオンした際に、表示が点灯しない等の状態になった場合は、一旦電源スイッチをオフし、1分程度後に再度オンしてください。

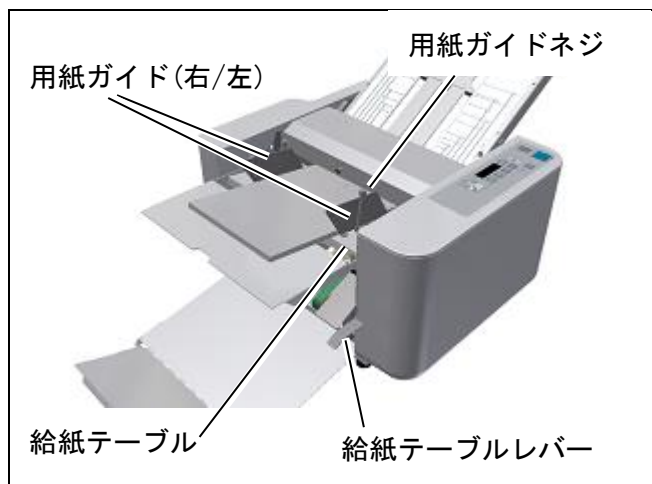
 警告	
	濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。

5. 使用方法

5-1 : 規格用紙(A3・A4・B4・B5等)の定形折り

※A6、B7サイズを折る場合は、24 ページ「5-8 ショート給紙モード」も併せてご参照ください。

- ① 給紙テーブルレバーを上げて、給紙テーブルを下げます。
- ② 用紙ガイドネジをゆるめて用紙ガイド(右/左)を使用する用紙の目盛りに合わせます。
- ③ 給紙テーブル上に用紙をきれいに揃えて積みます。
- ④ 用紙ガイドと用紙の隙間が無いようにして用紙ガイドネジを締めます。
- ⑤ 給紙テーブルレバーを下げて用紙をセットします。

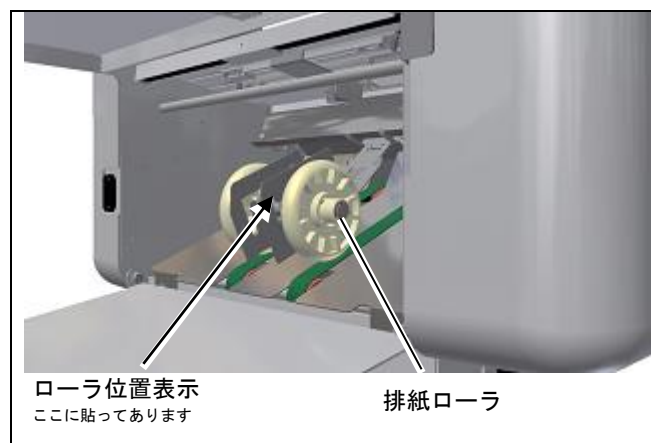


注意!

- ・ 印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙シワの原因になりますので必ず乾いてから使用してください。
- ・ 片袖折りの場合は、印刷面を下にしてください。
- ・ 用紙をセットするときは、印刷面に注意してください。用紙のセット状態と折られた状態は、10 ページ「3-1-2 : 用語・折り形解説」の表を参考にしてください。
- ・ 用紙ガイドと用紙に隙間があると折りずれの原因になります。

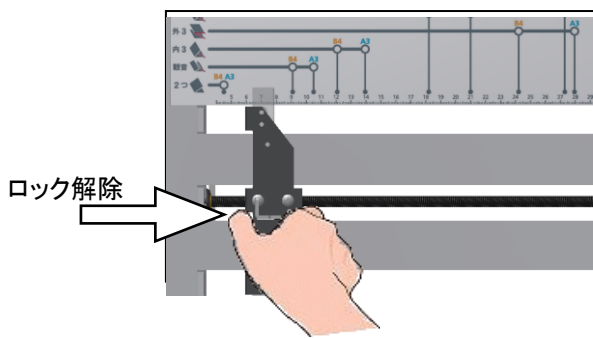
- ⑥ 「ローラ位置表示」シールを参考に、排紙ローラを用紙サイズ(A3・A4・B4・B5)に合った位置に移動します。

万が一、排紙がスムーズでない場合は、排紙ローラの位置を変えてください。
スムーズでないと折り速度が遅くなり、排紙が詰まりやすくなります。

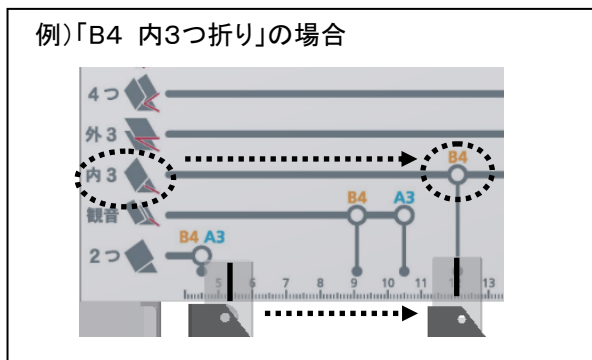


⑦ 折り位置をセットします。

- ① 折り位置ガイドのハーフナットレバーを指で挟むようにして矢印の方向にレバーを押し込むとロックが解除されます。

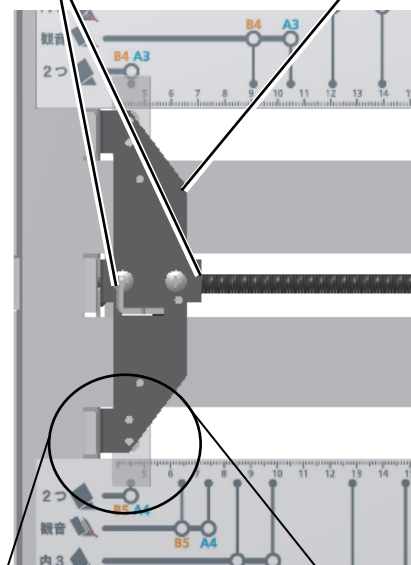


- ② 各折りカセットの目盛りを参考に、任意の用紙サイズと折り形の見盛りに指針を合わせます。

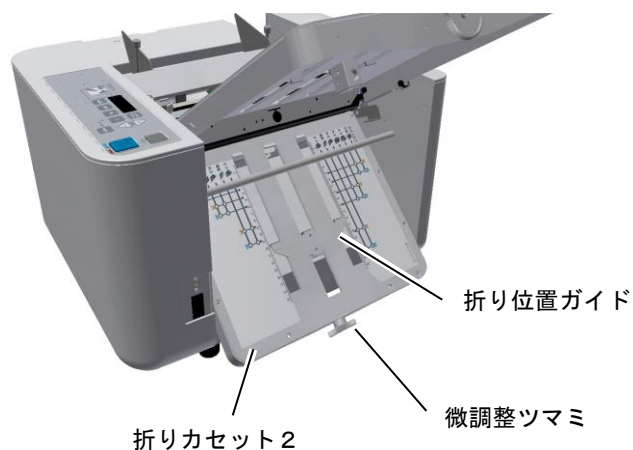
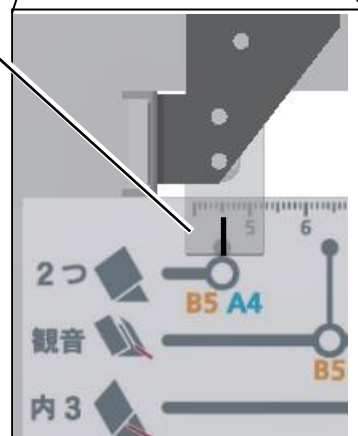


- ③ ハーフナットレバーを離すと、折り位置ガイドはその位置でロックされます。更に微調整が必要な場合は、微調整ツマミで行ってください。
→ 20 ページ「5-5-2 折りカセット1・2の微調整」参照。

ハーフナットレバー 折り位置ガイド



指針

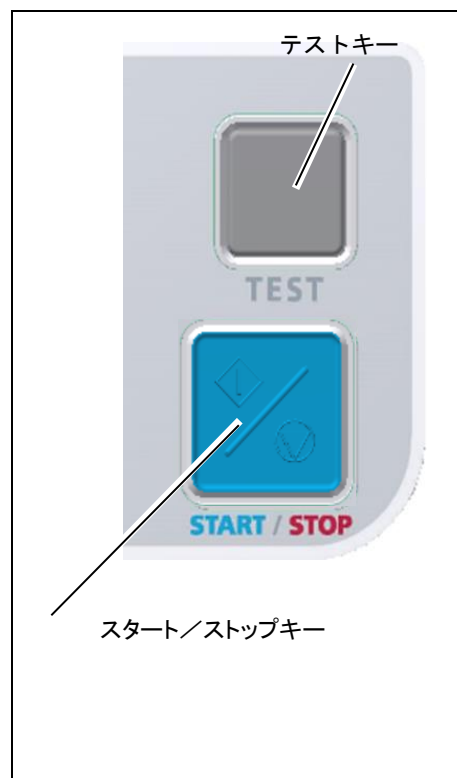





注意！

- ・ 2つ折りの場合、折りカセット1は全サイズ共に原位置(突当りまで)にセットしてください。
- ・ 2つ折りでシワ、及び異常な折りが発生した場合は、折り位置ガイドが動かなくなるまで微調整ツマミを短い方向(左回し)に回して下さい。

- ⑧ 試し折りをします。
- ・「テスト」キーを押すと2枚折ります（この2枚はカウントされません）。
 - ・2枚目に折った用紙で仕上がりを確認します。
 - ・ 折り合わせの曲がり、折りずれがある。
→ 20 ページ「5-5 調整」参照。
 - ・ 厚紙で給紙スリップが多発する。
→ 24 ページ「5-12 ロング給紙モード」参照。
 - ・ その他のトラブル・エラー
→ 29 ページ「7-1 トラブルの内容と処置」参照。

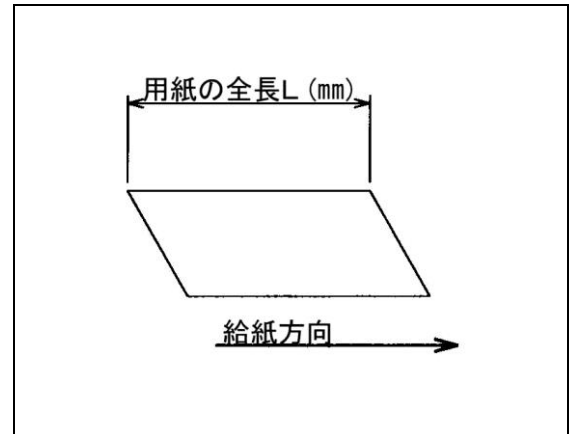
- ⑨ 連続折り
- ・「スタート/ストップ」キーを押すと、連続して用紙を折ります。
 - ・動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。
 - ・「クリア」キーを押すとカウンタは「0」に戻ります。
 - ・任意の枚数のみ折りしたい場合。
→ 21 ページ「5-6 カウンタ」参照。



 注 意	
	ローラなどの駆動部には絶対に手を触れないでください。 ケガの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラなどの駆動部に垂らさないでください。 ケガの原因になります。

5-2 : 規格外用紙(A3・A4・B4・B5等以外)の折り位置セット方法

- ・ 用紙の進行方向の長さを測ります。
- ・ 折りたい形に合わせて下表より折りカセット1・2の折りたい長さを計算し、折り位置ガイド(指針)を移動させます。



(単位 mm)

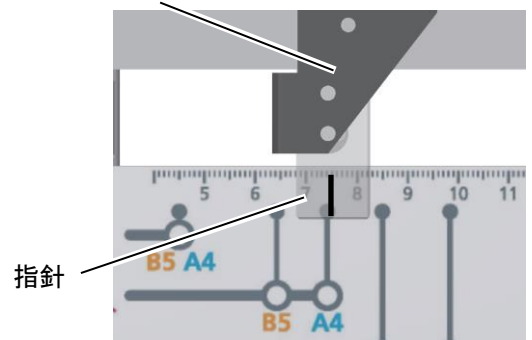
- ・ 用紙の長さ、折りカセット1・2の折り位置ガイド(指針)位置関係は、右表を参照して下さい。

	折りカセット1	折りカセット2
2つ折り	原位置	1/2L
4つ折り	1/2L	1/4L
片袖折り	3/4L	1/4L
内3つ折り	1/3L	1/3L
外3つ折り	2/3L	1/3L
観音折り	1/4L	1/2L

例) 300mm の用紙を4つ折りにする場合。

- ・ 折りカセット1 = $300 \times (1/2L) = 150\text{mm}$
⇒ 折り位置ガイドの指針を 150mm の位置に合わせます。
- ・ 折りカセット2 = $300 \times (1/4L) = 75\text{mm}$
⇒ 折り位置ガイドの指針を 75mm の位置に合わせます。

折り位置ガイド

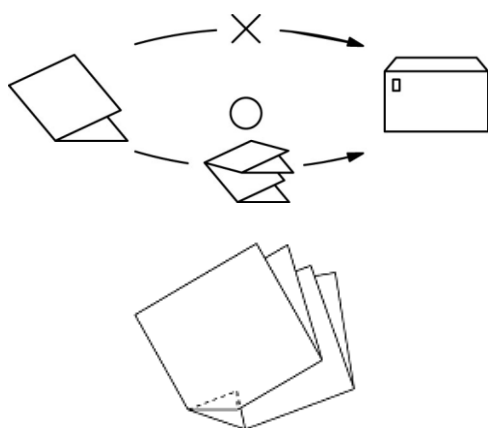


- ・ B6、A5サイズは、下表を参考に折り位置ガイドの位置を設定して下さい。

(単位 mm)

用紙サイズ	折りカセット	片袖折り	外3つ折り	内3つ折り	観音折り	4つ折り	2つ折り
B 6 サイズ 全長 182mm	折りカセット 1	137	122	60	不可	91	
	折りカセット 2	46	61	61	不可	46	91
A 5 サイズ 全長 210mm	折りカセット 1	158	140	70	52	105	
	折りカセット 2	53	70	71	106	53	105

5-3 : クロス折り

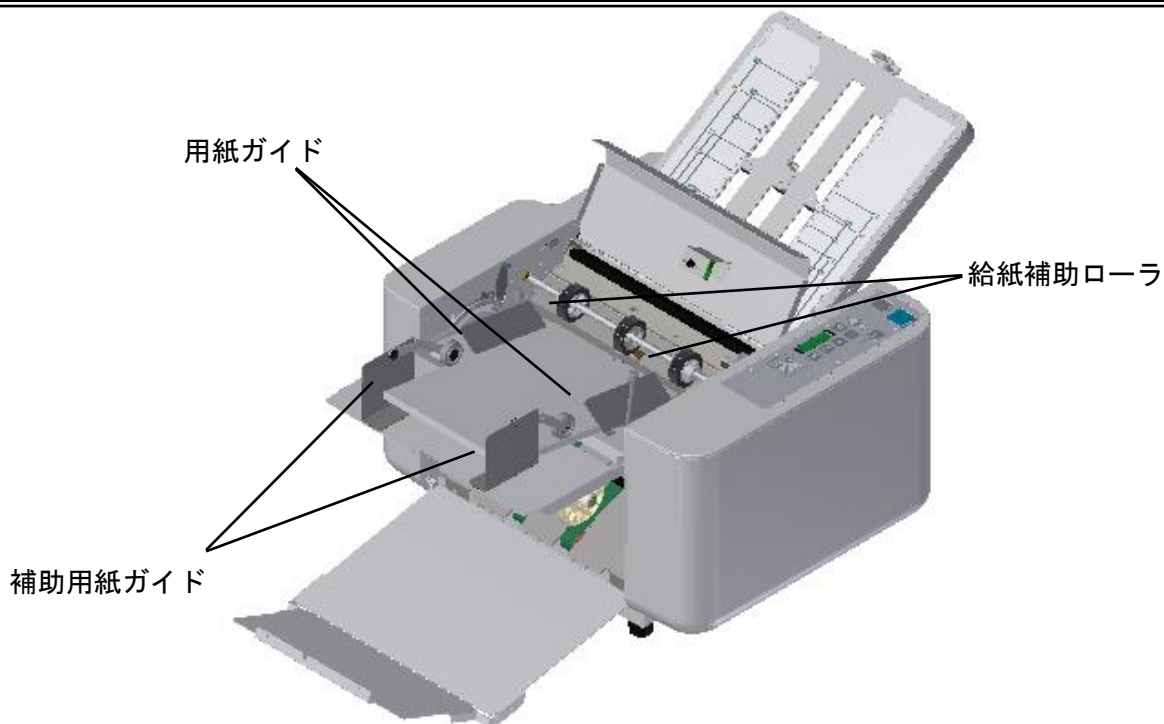


- クロス折りとは、2つ折りした用紙をさらに4つ折りや内3つ折りなどにするをいいます。
A3の用紙を4つ折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。

- ※ クロス折りに使用できる用紙は諸条件によって変動します。
 - ・ 用紙種類、用紙サイズ、縦目、横目、温度、湿度、印刷状態によっては、通常の折りより大きい折りずれ、また、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが、機械の故障ではありません。

ポイント!

- ・ 2つ折りした用紙の折り目を手でよくしごいてください。
- ・ 用紙は少な目に給紙テーブル積みます。(30枚以下)
- ・ 補助用紙ガイドは、用紙ガイドにあたらないように置きます。用紙ガイドにぶつかっていると給紙テーブルが正しく昇降しない場合があります。



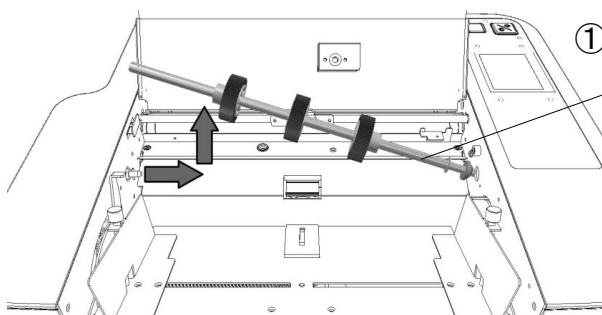
- ① 2つ折りにした用紙を給紙テーブルにのせ、用紙ガイドを密着させて固定します。
- ② 左右の給紙補助ローラのネジをゆるめて、用紙の両端をおさえる位置にセットします。
- ③ 補助用紙ガイドを、先端のベアリングで用紙のふくらみをおさえられるようにセットします。

注意!

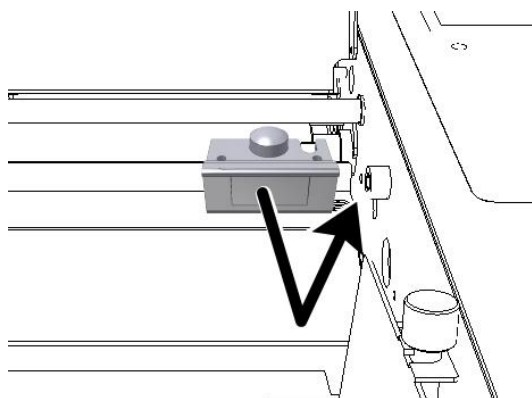
給紙補助ローラのホルダは樹脂製のため、ネジの締め過ぎによるホルダの破損に注意してください。

5-4 : アート紙 / コート紙を折る方法

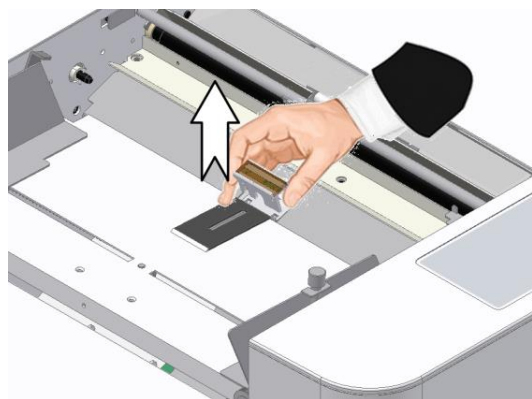
5-4-1 : コート紙用セパレータへの交換



① 給紙ローラ軸を図のように外します。



② 安全カバーを開けたところに「コート紙用セパレータ」が収納されています。白いツマミをゆるめて取り外してください。

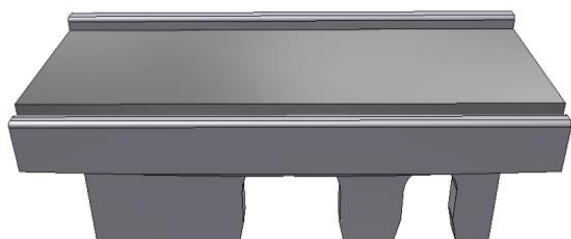


③ 標準で装着されているセパレータを抜き、「コート紙用セパレータ」と交換します。

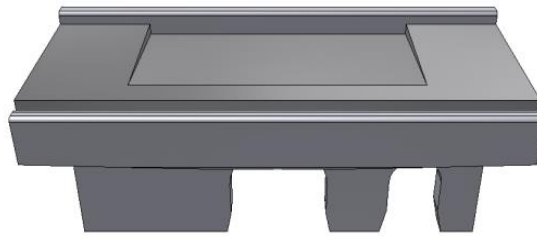
標準で装備されていたセパレータはコート紙用セパレータが収納されていた箇所に収納し、白いツマミネジでしっかりと固定し、紛失しないようご注意ください。

● コート紙用セパレータは、ゴムの中央が削られていますので、標準のセパレータと識別できます。

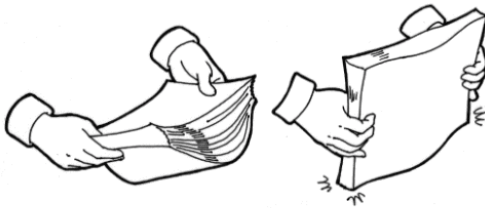
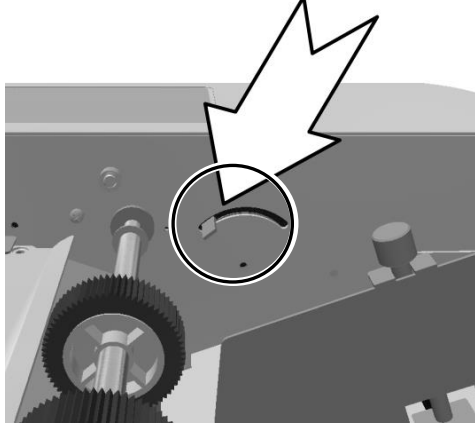
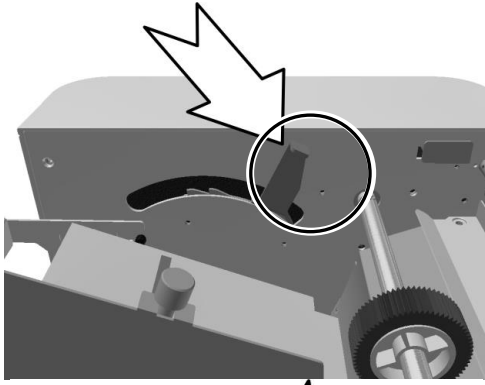
標準のセパレータ



コート紙用セパレータ



5-4-2 : 圧力調整



紙と紙の間に空気を入れる
ようにして、よくさばきます

- ① 給紙圧調整レバーを「0」に設定します。
- 1、0、1、2、3 の5段階で設定出来ます。
数字が大きくなると給紙圧は強くなり、用紙を給紙する力が強くなります。

- ・ 重送が多発する場合……………給紙圧を下げる。
- ・ 給紙スリップが多発する場合……………給紙圧を上げる。

- ② セパレータ圧調整レバーを「2」に設定します。
- 1、0、1、2、3の5段階で設定出来ます。
数字が大きくなるとセパレータ圧は強くなり、用紙を下から押さえる力が強くなります。

- ・ 重送が多発する場合……………セパレータ圧を上げる。
- ・ 給紙スリップが多発する場合……………セパレータ圧を下げる。

- ③ 用紙をよくさばいてから積みます。

注意!

- ・ アート/コート用紙の印刷物は、用紙どうしの密着度が非常に強い場合があります。
その場合上記①および②の設定だけでは給紙ミスが発生しやすくなるため、用紙を給紙テーブルにセットする前には必ずさばいてください。

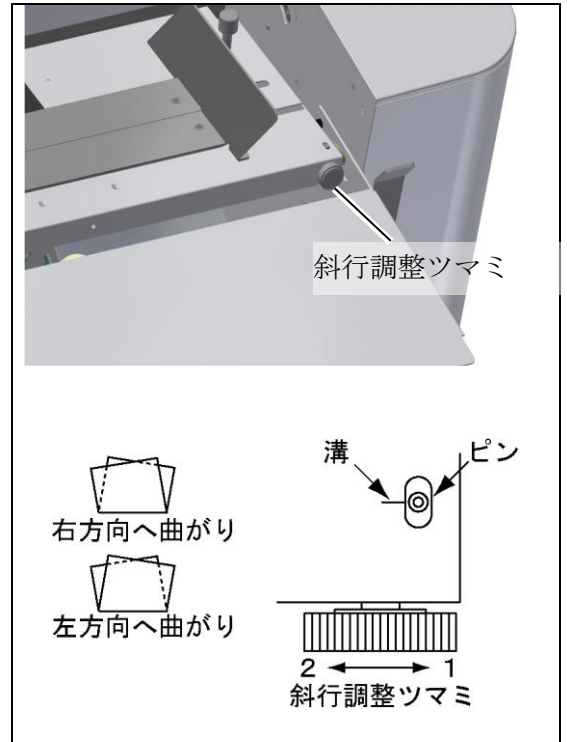
ポイント!

- ・ 上下左右各数回ずつさばくと紙送りが良くなります。
- ・ 用紙積載量が多いと給紙不良発生率が高くなります。重送が多発する場合は、用紙積載量を50枚～100枚程度にしてください。処理速度を1つ下げるのも効果的です。

5-5 : 調整

5-5-1 : 斜行調整

- ・ 折り合わせが曲がっている場合は、斜行調整つまみで曲がりを修整することができます。
- ※ 調整前に用紙ガイドと用紙の間に隙間が無いか確認してください。隙間がある場合は、用紙ガイドを再調整して隙間を無くし、折り合わせを再確認してください。
- ・ 基本位置は、右図のようにピンが溝のある中央にあります。排紙された状態のまま見て、用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整つまみを1(右回り)へ。左へ曲がった場合は2(左回り)へ回してください。



注意!

- ・ 2つ折り以外の場合は折りカセット1で折られた面を下にして斜行調整してください。
- ・ 用紙を変えた時は、斜行を調整し直してください。
- ・ 作業後は斜行調整つまみを基本位置に戻してください。

5-5-2 : 折りカセット1・2の微調整



※ 折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

	折り形	2つ折り	観音折り	内3つ折り	外3つ折り	4つ折り	片袖折り
折りカセット1	紙折りの状態 (実線の長さを折りカセット1で調整します)	折りカセット1を通りません					
	実線部が長い場合		短	短	短	短	短
	実線部が短い場合		長	長	長	長	長
折りカセット2	紙折りの状態 (実線の長さを折りカセット2で調整します)						
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長	長

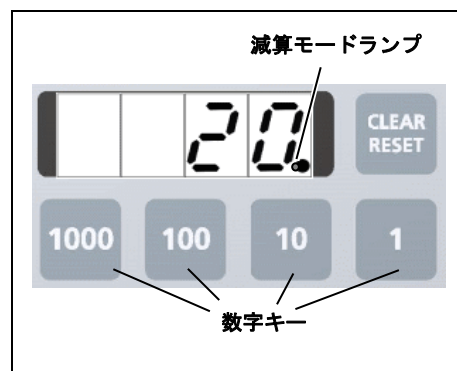
5-6 : カウンタ

5-6-1 : 加算モード

- ・「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを「0」にします。「スタート/ストップ」キーを押すと動作を開始し、紙が無くなるまで動作を続け、1枚折るごとにカウンタが1ずつ増えます。

5-6-2 : 減算モード

- ・折る枚数を指定したい場合に使用します。
「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを「0」にし、任意の枚数を「数字」キーで入力します。
枚数を入力すると減算モードランプが点灯します。
- ・「スタート/ストップ」キーを押すと動作を開始し、1枚折るごとにカウンタが1減り、カウンタが「0」になると停止します。
20枚折りたい場合、「10」キーを2回押します。

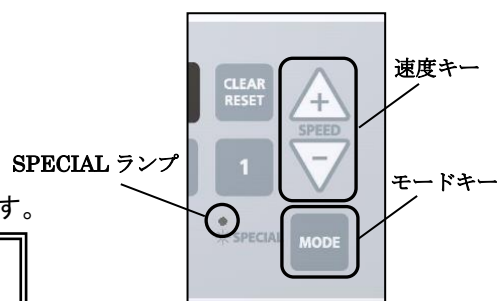


5-7 : 速度調整

- 次のような場合に、速度調整で改善することができます。

- ・更紙などの柔らかい用紙でシワや斜行が発生。
- ・動作音を小さくしたい。
- ・厚口の用紙で紙詰まりが発生する。

「速度」キーで速度調整をしてください。速度はカウンタに表示されます。



注意!

速度を変化させた後は、折り位置の微調整が必要になります。

5-7-1 : 標準モード

- ・「SPECIAL」ランプが点灯していない状態が標準モードです。

	表示	速度	説明
Lo		低速	柔らかい用紙の折り作業、動作音を小さくしたい時に選択してください。
ME		中速	基本的な速度です。
Hi		高速	厚口の用紙で選択してください。

5-7-2 : SPECIALモード

- ・「モード」キーを押すと「SPECIAL」ランプが点灯し、SPECIALモードに移行します。

	表示	モード	説明
S_Lo		静音モード	静かに動作するモードです。(※厚口の用紙には不向きです)
S_ME		厚紙モード	厚口用紙の専用モードです。
S_Hi		超高速モード	高速で折り作業が行えます。 A4以下の2つ、内3つ、4つ折りのみ行えます。

※ S_Lo、S_Hi のモードでは A4 サイズ以下 2つ/内3つ/4つ折りのみ対応

ポイント!

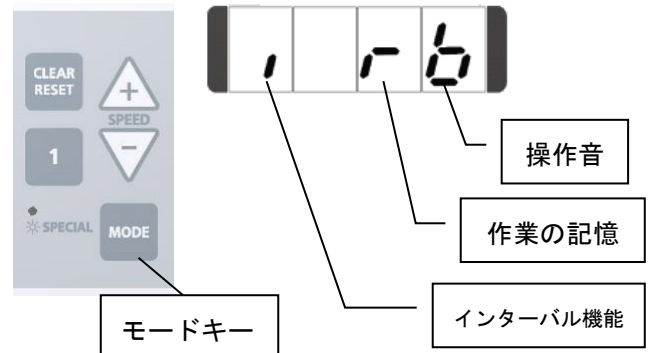
- ・ S_Lo : 標準モードの最低速度と同じモータの回転数で、給紙間隔を詰めて動作しているため、処理枚数は標準モードの約1.5倍となります。
- ・ S_ME : 標準モードの最高速度より早いモータの回転数で、給紙間隔を空けて動作しているため、用紙の搬送の勢いを利用して厚紙用紙を確実に折ることができます。
- ・ S_Hi : 標準モードの最高速と同じモータの回転数で、給紙間隔を詰めて動作しているため、処理枚数は標準モードの約1.3倍となります。

※ 「S_Lo」/「S_Hi」では、A4用紙にて処理枚数が標準モードの約1.5倍/1.3倍となるよう設定されていますが、用紙サイズ/折り方/折り位置設定により、処理枚数が標準の1.5倍/1.3倍とならない場合があります。

5-8 : 各機能のON/OFF

- 「インターバル機能(バッチ処理)」「作業の記憶」「操作音」のON/OFFを行います。

- ・ 「MODE」キーを押したままにすると、7セグメント表示が「i r b」になります。
- ・ 各表示が点灯している時は機能(設定)ON、点滅時はOFFとなります。
- ・ 「MODE」キーを押したまま、対応キーを押す事でON/OFFの切り替えが行えます。
- ・ 「MODE」キーを離すと設定内容が適用されます。

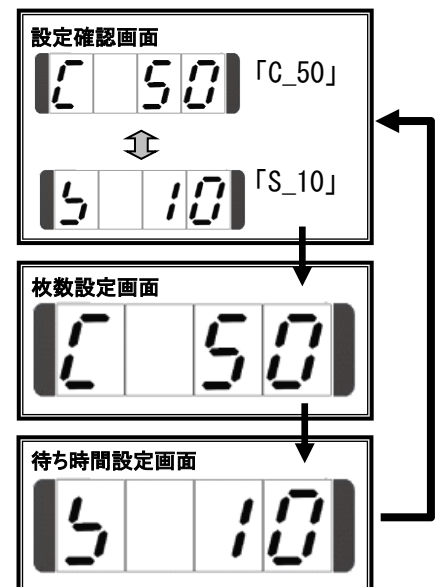


表示	機能	対応キー	説明
i	インターバル機能	1000	機能内容については「5-9 インターバル機能(バッチ処理)」をご覧ください。
r	作業の記憶	100	電源を切る直前の作業内容を記憶します。電源を入れてすぐに前日の作業などを始められます。
b	操作音	10	ボタンを押した時の音や作業終了音などのビープ音を消す事が出来ます。

5-9 : インターバル機能(バッチ処理)

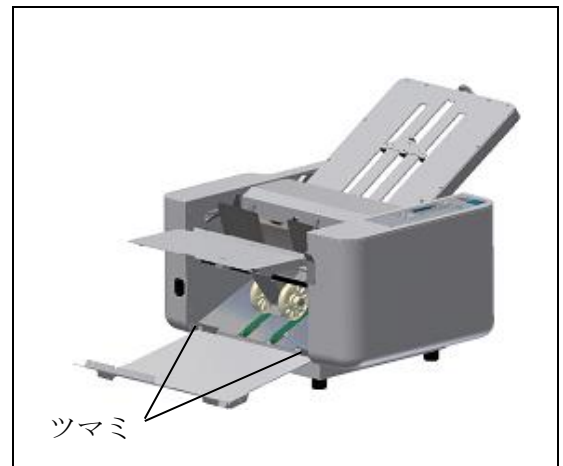
- 設定した時間ごとに折り作業を区切る機能です。
「5-8 各機能のON/OFF」の操作でインターバル機能をONにしてください。
ONにするとインターバル機能の「設定確認」画面が表示されます。

- ・ 画面の切り替え方法
「1000」キーを押すと画面が切り替わります。
(設定確認→枚数設定→待ち時間設定→設定確認…)
- ・ 「設定確認」画面
C(枚数設定)とS(待ち時間設定)が交互に表示されます。
枚数と待ち時間を設定し、折り作業をスタートして下さい。
- ・ 「枚数設定」画面
連続して折る枚数(カウント数)を入力して下さい。
最大500枚まで設定可能です。
- ・ 「待ち時間設定」
連続折りを行った後の待ち時間(秒)を入力して下さい。
最大20秒まで設定可能です。
- ・ インターバル機能をOFFにする時は、「5-8 各機能のON/OFF」の操作でインターバル機能をOFFにしてください。



5-10 : 排紙テーブルの取り外し方

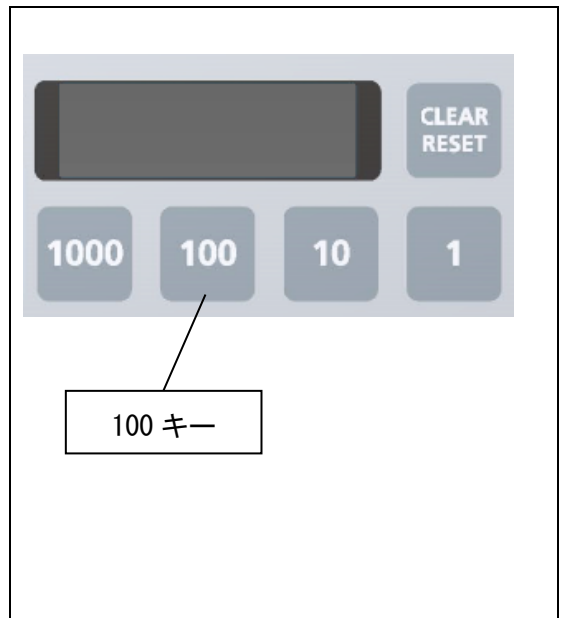
- ・ 排紙テーブルは取り外し可能になっています。
大量に排紙する場合や、設置スペースが無い場合は排紙テーブルを取り外して使用してください。
- ・ 排紙テーブルはつまみで固定してあります。
取り外す際は、つまみ(左右)を緩めて外してください。



5-11 : ショート給紙モード

- 小さな用紙を折る場合の特殊機能です。
A6やB7サイズの小さな用紙を給紙したときに、連続して折られる現象が発生したときに使います。
- ・ 操作方法
 - ① 電源をオフにします。
 - ② 「100」キーを押しながら電源をオンにします。
- ・ 速度設定
全速度にて設定できますが、連続折りの現象が改善されない場合は、中速または低速にて使用してください。
- ・ 電源を一度切って、再度電源を入れ直したときは、通常状態に戻ります。

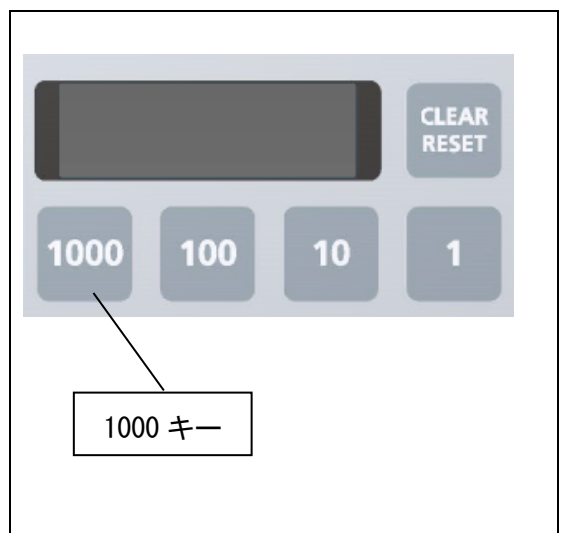
※ 製造番号 37150001 より対応



5-12 : ロング給紙モード

- 給紙スリップが多発する場合の特殊機能です。
特に厚手の用紙を給紙するときは、給紙スリップが多発する場合があります。そのときにこの機能を使うと給紙スリップの発生を減少させることができます。
- ・ 操作方法
 - ① 電源をオフにします。
 - ② 「1000」キーを押しながら電源をオンにします。
- ・ 電源を一度切って、再度電源を入れ直したときは、通常状態に戻ります。

※ 製造番号 37150001 より対応



5-13 : 省エネモード

- ・ 操作パネルの表示を暗くして、消費電力を削減します。
- ・ 省エネモード中は、カウンタ表示が暗くなります。
- ・ 約2分以上、操作をしないと省エネモードに入ります。
- ・ 省エネモードから抜けるには、操作パネルのいずれかのキーを押します。

5-14 : エラー表示・状況・対策

- ・ 次のような状況の時、機械は自動的に停止します。改善するには、「対策」をご参照ください。

表 示	状 況	対 策
	① 用紙が無い状態で「スタート/ストップ」キーを押した ② 給紙テーブルレバーが上がっている状態で「スタート/ストップ」キーまたは「テスト」キーを押した ③ 減算モードで動作中に用紙が途中でなくなった	① 給紙テーブルに用紙をセットしてください。 ② 給紙テーブルレバーを下げてください。 ③ 給紙テーブルに用紙を補充してください。
	① 給紙スリップ発生 ② 折りカセット1、又は2で紙詰まり発生	① 用紙セパレータ・給紙ゴムローラ清掃、又は交換をして下さい。 → 23 ページ 「6-2 日常のお手入れ」参照。 ② 折りカセットを外し、詰まった紙を取り除いてください。
	① 排紙テーブル満杯時 ② 排紙部紙詰まり発生 ③ 排紙フォトセンサが汚れている	① 排紙部の紙を取り除いてください。 ② 排紙部の紙詰まりを取り除いてください。 ③ 排紙フォトセンサの清掃を行ってください。 → 24 ページ 「6-4 排紙フォトセンサの清掃」参照。
	① 安全カバーが空いている ② 折りカセット1がしっかりセットされていない ③ 折りカセット2がしっかりセットされていない	① 安全カバーを閉めてください。 ② 折りカセット1をセットし直してください。 ③ 折りカセット2をセットし直してください。
	① 折りカセット1又は2で紙詰まり発生 ② 紙が折れない (用紙質量/紙質と速度が合っていない)	① 折りカセット1・2を外して、紙詰まりを取り除いてください。 ② 速度を上げてください。 → 20 ページ 「5-5 速度調整」参照。

※ ここに記載の無いエラーやトラブルについては、27 ページ「7-1 トラブルの内容と処置」をご参照ください。

6. 保守・点検・消耗品

6-1 : 点検・お手入れ時の注意事項



警告



点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケガ・感電の恐れがあります。

6-2 : 日常のお手入れ

- ・ 折りローラに紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラ専用クリーナ※とウエスを用いて清掃してください。
- ・ 折りローラは1本ずつ、ゴムローラ専用クリーナを浸したウエスで力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。
- ・ 折りローラの清掃は、脱着可能な2本の折りローラを外して行うと容易に作業できます。
27 ページ「6-4 折りローラの脱着」をご参照ください。
- ・ 紙粉及び印刷物のインク等が給紙ゴムローラや用紙セパレータに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでゴムローラ専用クリーナを用いて清掃をしてください。
- ・ 外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナを使用してください。溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

※ ゴムローラ専用クリーナ LG-CL500 : 注文コード 846-24

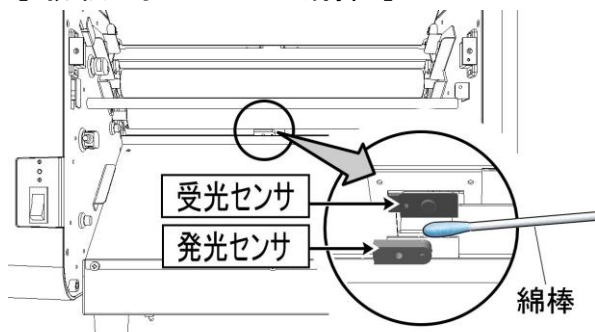
ご注文の際は、本機をご購入の販売店までご連絡ください。

6-3 : 消耗品について

- ・ 製品に使用されている給紙ゴムローラ、用紙セパレータは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

6-4 : 排紙フォトセンサ/折りローラの清掃について

[排紙フォトセンサの清掃]

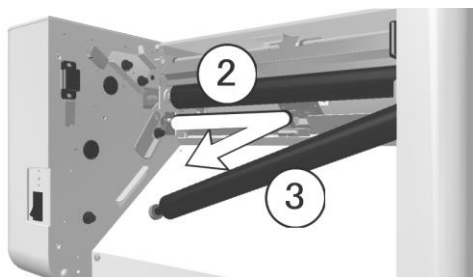
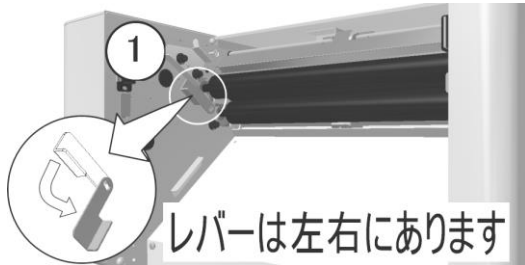


- 用紙を給紙せず「E3」のエラー表示で停止してしまう場合は、排紙フォトセンサに付着した紙粉をやわらかい綿棒で取り除いてください。

- ① 折りローラを外してください(27ページ参照)。
- ② 排紙フォトセンサに付着した紙粉などの汚れをやわらかい綿棒で取り除いてください。

[折りローラの脱着と清掃]

- ・ 工具を使用しないで2本の折りローラを取り外すことができます。
- ・ 取り外す事で、ローラや排紙フォトセンサの清掃が簡単になります。
- ・ 残りの2本のローラは脱着できないので、少しずつ回しながら清掃します。

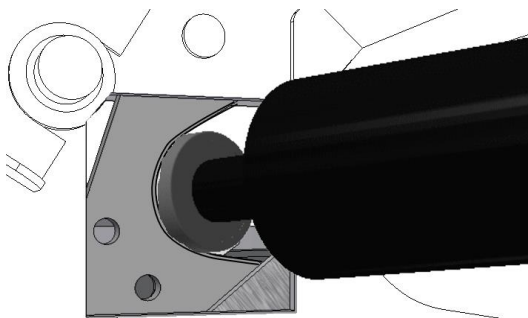
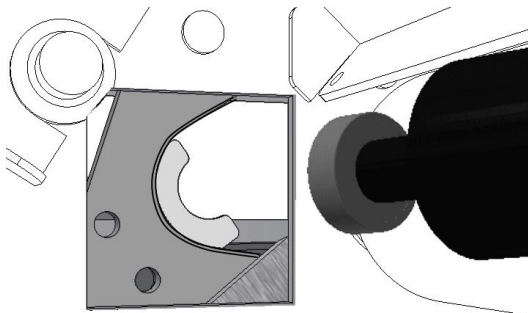


[折りローラの外し方]

折りカセット1、2を外しておきます。

- ① ローラ脱着レバーを「ローラ解除位置」側に下げます。
ローラ脱着レバーは左右にあります。
- ② 上側の折りローラを右にずらします。
(左穴から軸が外れます)
- ③ 右穴からローラを外します。
同じ手順で、下側の折りローラを外します。

4本の折りローラを清掃します。
清掃後は外した時と逆の手順で下側の折りローラからつけていきます。



[折りローラのつけ方]

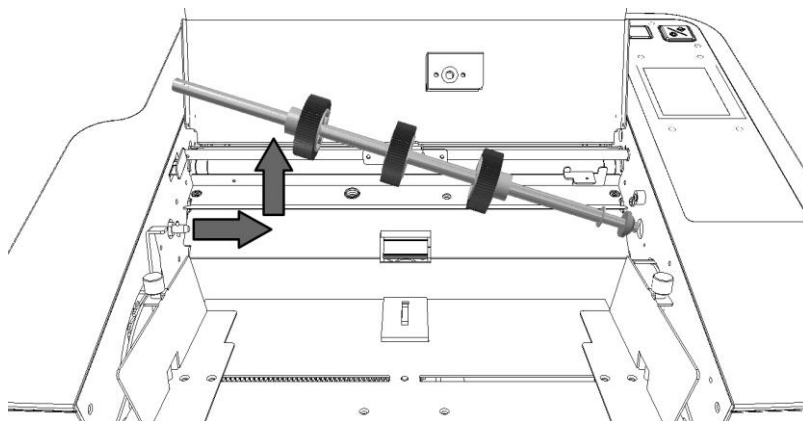
- ① ローラを右奥まで差し込みます。
- ② ローラを左にスライドさせます。
- ③ ローラ脱着レバーを「使用時」側に上げます。

注意!

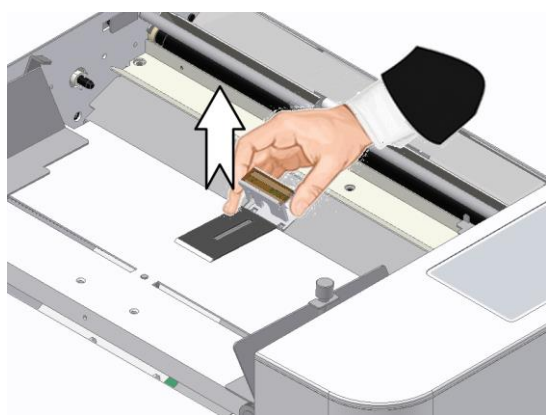
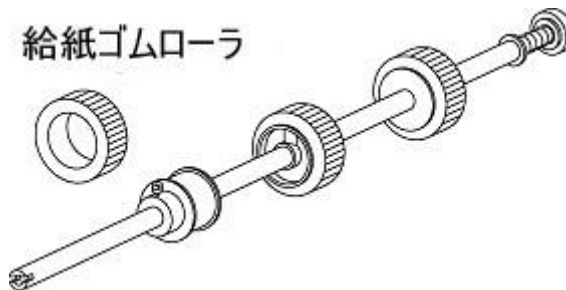
- ・ 確実に折りローラがセットされないと故障の原因になります。
- ・ セットできない場合は裏表紙に掲載されている連絡先までお問合せください。

6-5 : 用紙セパレータ・給紙ゴムローラの脱着について

- 給紙ゴムローラと用紙セパレータを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。



給紙ゴムローラ



- ・ 用紙セパレータ(樹脂付)の両端を持ち、引き抜きます。
- ・ 取り付けは逆の要領で行います。

※ 該当交換部品 … 紙折機ゴムローラセット LF-R1N (注文コード 953-83)

→ 給紙ゴムローラ3個と、用紙セパレータのセット品です。

ご注文の際は、本機をご購入の販売店までご連絡ください。

7. トラブル時の処置

7-1 : トラブルの内容と処置

現象	原因	処置	参照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5-5-2 折りカセット 1・2 の微調整
	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6.保守・点検・消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている又は用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5-4-1 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	5-4-1 斜行調整
	更紙など薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または(可能であれば)裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6.保守・点検・消耗品
	仕様外用の紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットしなおす	4-1 付属品を取り付ける
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部点検し紙片を取り除く	
	給紙ゴムローラが汚れている	給紙ゴムローラを清掃する	6.保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
スタートキーを押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がないまたは、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
	安全カバーが開いている	安全カバーを閉じる	
	排紙フォトセンサが汚れている	排紙フォトセンサ清掃	24 ページ 「排紙フォトセンサの清掃」
シワが生じる	折りローラに紙片が巻きついている	折りカセット1・2を外して折りローラの紙片を取り除く	
	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6.保守・点検・消耗品
	仕様外用の紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	印刷直後の用紙のはりつき	用紙をよくさばくかインクが乾いてから紙折りをする	
	折りカセット1・2内での紙詰まり	折りカセット1・2を取り外し、紙片を取り除く	

現象	原因	処置	参照
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットしなおす	4-1 付属品を取り付ける
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または(可能であれば)裏返す	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
電源スイッチをONしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4-1 付属品を取り付ける
排紙ジャムが多発する	排紙満杯	用紙を取り除く	
給紙スリップが多発する	給紙ゴムローラが摩耗している	給紙ゴムローラ交換	6.保守・点検・消耗品
	給紙ゴムローラに紙粉やインクの汚れがある	給紙ゴムローラ清掃	6.保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレータが汚れている	用紙セパレータ清掃	6.保守・点検・消耗品
	給紙テーブルの用紙積載量が少ない	用紙は20枚以上セットする	
	用紙セパレータが摩耗している	用紙セパレータ交換	6.保守・点検・消耗品
	用紙が厚い(仕様内)	ロング給紙モードを使用	5-9 ロング給紙モード
重送が多発する	用紙セパレータが摩耗している	用紙セパレータ交換	6.保守・点検・消耗品
	用紙セパレータが汚れている	用紙セパレータ清掃	6.保守・点検・消耗品
	印刷済用紙が密着している	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
紙折れが生じる	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5-4-2 折りカセット1・2の微調整
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットしなおす	4-1 付属品を取り付ける

7-2 : 故障の場合

- ・ 故障して修理が必要な場合は、本機をご購入の販売店までご連絡ください。

8. 移設または廃棄するとき

8-1 : 移設

8-1-1 : 旧設置場所からの撤去作業

- ① 電源スイッチを切ってください。
- ② 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ 折りカセット1・2を外してください。
- ④ 給紙補助テーブルをたたんでください。
- ⑤ 排紙テーブルをしまってください。

8-1-2 : 運搬

- ・ 取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運んでください。
- ・ 強い振動や衝撃を与えないようにしてください。
- ・ 保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬してください。

8-1-3 : 移設先での設置

- ・ 新設の場合と同様の作業を行ってください(11ページ「4. 仕様前の準備」参照)。

8-2 : 廃棄

- ・ 廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

9. 製品仕様

9-1 : 仕様

用紙寸法	B7(91×128mm)～A3(297×420mm) ※B7は2つ折りのみ可、B6は観音折り不可。
用紙質量	40kg～110kg(46.5g/㎡～127g/㎡)2つ折りのみ 135kg まで(157g/㎡) ※速度による制限あり。
紙質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙・アート/コート紙 ※上記の紙質であっても、一度折った紙、また、コピー機やプリンタ等の印刷機からの熱によってカールした紙や波打った紙を使用すると、うまく折れない場合があります。
折り形	2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り・その他変形折り・2回折りによるクロス折り。
折り寸法	最大折り寸法 折りカセット1:322mm 折りカセット2:216mm
	最小折り寸法 折りカセット1:51mm 折りカセット2:45mm
給紙方式	3輪式サバキ方式
排紙方式	ローラ3段階位置手動切り換え
給紙積載量	500枚(上質紙 64g/㎡)
処理速度	2400～14400枚/時 (A4 2つ折り時・紙質や作業環境等により異なります) 最高速時は、エラー後に次の用紙を給紙して停止。その他、折り形の種類に制限あり。
操作方式	手動設定方式
付加機能	斜行調整・紙詰まり検知・4桁カウンタ・クロス折り用補助用紙ガイド付。 ジャムマップ表示・インターバル機能。
消費電力	50W
使用電源	100V 50/60Hz
機械寸法	W1010×D545×H494mm(使用時) W652×D545×H494mm(収納時)
機械質量	26.8 kg

※ 本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

メモ

メモ

メモ

取扱説明書

紙折機 LF-S640

お客様相談室

フリーダイヤル

お問い合わせは平日午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL ☎ 0120-074416 FAX ☎ 0120-402539



本 社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号